

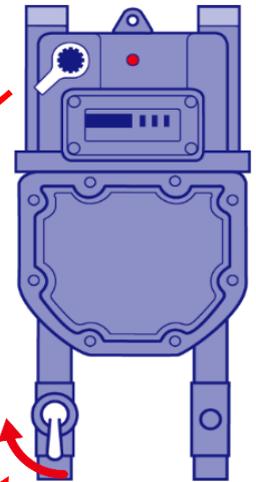
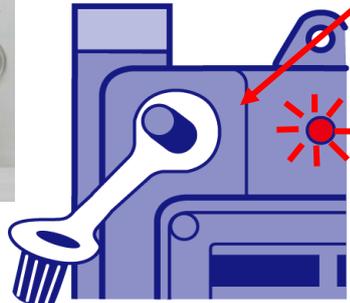


## ◆ 災害時、ガスや電気の対応策

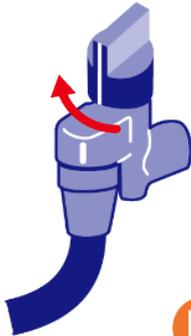
震度5相当以上の地震などの非常時には、ガスメーター(マイコンメーター)の安全装置が作動して、ガスを止めます。(表示ランプが赤く点滅します。)

※ガス漏れの疑いもありますので、ガス臭くないか十分確認してください。

1. すべてのガス機器を止めます
2. 復帰ボタンのキャップを手で左に回し、キャップを外します
3. 復帰ボタンを奥までしっかり押します
4. 表示ランプが点灯したらゆっくり手を離します
5. 約3分間お待ち、3分経過後に、再度ガスメーターを確認します
6. 赤ランプの点滅が消えていれば、ガスが使えます



※ガス臭いと思ったら、ガス栓やメーターのガス栓を閉めましょう





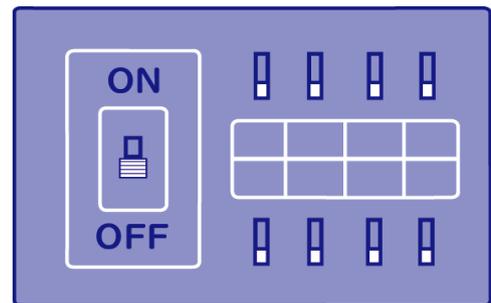
ご自宅の分電盤がどこにあるか知っていますか?ブレーカーの位置を普段から確認しておきましょう。

災害が起き停電したら、分電盤のブレーカーを一度切り(OFFにします)、電源プラグをコンセントから抜きましょう。

停電復旧時に、家庭内の家電製品が一斉に運転を始めると、家電製品は電源が入った時に電流を大きく使用するのでヒューズやブレーカーが飛ぶ可能性があります。また、通電した電気製品から火災(通電火災)が発生するのを防ぎます。

阪神淡路大震災時の火災の原因が、通電火災によるものが大きかったとされています。冬の寒い朝に電気ストーブを使っていた時に発災。家が倒壊した後通電。そのままだった電気ストーブより火災が発生したという事例があります。

もし、避難所に避難する場合、分電盤のブレーカーのスイッチをOFFにして避難しましょう



ブレーカーに電源遮断器を設置すると地震で揺れた時おもりが落ちてOFFになります

